

2016年度第27次宜野座村内子町親善訪問交流事業に参加

9宜野座村と愛媛県内子町の子どもや各種団体との交流を深める2016年度第27次宜野座村内子町親善訪問交流事業が夏休みの8月23～26日の日程で実施されました。本校からも5年生の當眞嗣歩さんと當眞羽奈さんの2名が参加しました。沖縄ではなかなかできない川遊びやアユの塩焼き、凧づくりなどを経験し、内子町の文化や伝統を沢山学んできたそうです。下記にその感想を記してもらいました。

内子町親善交流に参加して

5年 當眞嗣歩

宜野座村は、愛媛県内子町と姉妹都市を結び1973年から交流をしています。ほくは、第27次訪問団として、この交流事業に参加しました。参加した理由は、県外の子供たちと友達になりたかったからです。松田小学校から二人、漢那小から二人、宜野座小から一人、合計五名の参加になりました。

まず、内子町からの友達の受け入れです。夏休みになってすぐ、空港で友達をむかえました。お互いきんちょうして、平和学習の時、話ができませんでした。帰りのバスの中でもなかなか声をかけることができず、バスは宜野座村に到着してしまいました。

かんげい会の準備をしていると、内子町の友達が「ねえ、遊ぼう」と声をかけてくれました。すると、みんなで「おにごっこ」が始まりました。けんげい会が始まるころには、みんな仲良くなっていました。みんなでご飯を食べたり、おしゃべりをしたり、とても楽しい時間になりました。僕たちがエイサーをひろうすると、内子町のみなさんが興味深く見てくれたので、とてもうれしかったです。

かんげい会が終わると、いよいよホームスティ先への移動です。今回ぼくの家にホームスティするのは、天神小学校の佑斉君でした。佑斉君はとても話が上手で、愛媛の学校の様子、海でのつりのことなど色々なことを教えてくれました。二人でふとんに入り、話し込んでいたら、つい夜ふかしをしてしまいました。翌日は、漢那ダムまつりや農村公園でのバーベキューを思いっきりたのしみしました。そして、三日目。内子のみなさんも楽しみにしていた美ら海水族館、エメラルドビーチでの海水浴。みんな大笑いして、海に飛びこんでいきました。みんなでやったビーチフラッグも大盛り上がりでした。

四日間を楽しく過ごし、とうとうお別れの日がきました。ぼくたちは、さびしい気持ちもありましたが、「また、内子で会おうね。」と、笑顔で手をふりました。

8月23日。いよいよ内子町訪問の日です。前日から、ドキドキとうれしさで眠れませんでした。

松本空港に着くと、内子町の友達が横断幕を持ってむかえてくれました。久しぶりに会う友達の笑顔を見ると、とてもうれしくなりました。

ぼくたちは、松山空港からバスで松山駅に移動し、そこから特急列車に乗って内子町に向かいました。特急列車に乗るのは初めてだったので窓からの動く景色がめずらしくずっとながめていました。沖縄にはない内子の古い町並みがとても印象に残りました。

初めに「内子座」を見学しました。その後、内子自治センターで交流パーティーに参加し、ホームスティ先に向かいました。ホームスティ先は、佑斉君の家。すっかり仲良しのぼく達は、プロ野球の話で盛り上がりました。佑斉君たちが阪神タイガースのファンというのを知り、二月のキャンプにぜひ来てくださいと言いました。

内子町では、森の中のハイキングや川つりを体験しました。森の中は、ひんやりとして空気がおおいかったです。川つりでは、ポイントをさがしてねばりましたが、一びきもつかれませんでした。でも、初めての体験だったので、一日が短く感じられ、もっとやりたいと強く思いました。

そして、翌日、天神小を訪問しました。そこで、ドッジボールとフリスビーを組み合わせた「ドッジビー」で交流しました。ねらった方向になかなか飛ばず苦戦しましたが、みんな笑顔で楽しんでいました。

最終日は、楽しみにしていた「川遊び」です。「つめたーい。」と言いながら、友達と水をかけあいました。それから、「ペットボトルいかだ」に男子四人で乗りました。ゆらゆらゆれましたが、しずまなかったので、びっくりしました。

とうとう内子町での最後の夜。佑斉君の家族ととなりの家族で、バーベキューをしました。「また、会えるといいね。」ぼく達は、声をかけあいました。

この体験を通して、ぼくはたくさんの友達とふれあうことができました。そして、愛媛県の良さを体で感じる事ができました。

「嗣歩さん、成長したね。」二学期になって、担任の先生が言葉をかけてくれました。

これからも、ぼくは、色々な体験をして、色々なことを学んでいきたいです。

内子町訪問団の思い出

5年 當眞羽奈

私は、今年の夏休みに訪問団員として愛媛県内子町に行ってきました。

まず、内子町の方が宜野座村にやって来ました。私の所に泊まりにくる子の他に4人の団員が来ます。なは空港にむかえにいくとき私は、友達になれるかと心配でドキドキしたり、どんな子がくるのか楽しみでワクワクしていました。

なは空港で内子訪問団員を待っていたとき、そのようなかけがえが現れました。そのしゅんかん私はようやく落ち着いていた気持ちが急にドキドキに変わり、私自身がびっくりしました。会ったときは、その時から友達になれそうと思いました。

私が一番心に残った場所は首里城です。なぜなら、私も一回も行ったことがないからです。首里城は、私が思っていたイメージとちがいました。それは、高い所にあること、王様の座るいすの周りが金だったことです。この場所を見た私は、びっくりしました。そして感動しました。地元なのに、色々なことが学べたので良かったです。

そして、内子町に行く日。私は、落ち着いていました。でも、なは空港に行くときに近づいて行くにつれて気持ちがドキドキしました。なぜなら、お母さんたちもいっしょじゃないで行くこと、飛行機に久しぶりに乗るからです。みんなでもいっしょに乗りました。最初はきんちょうしたけど、みんなにいると思うと安心しました。

そして、到着したら、内子のみなさんが出迎えてくれました。とてもうれしかったです。

二日目に川遊びをしました。みんなでいかだをつかいどちらが早くゴールするかをきそったり、水かけ合いもしました。とても楽しかったです。昼ご飯にアユの塩焼きと、アユのおにぎり、アユフライを食べました。おいしかったです。

三日目には、一番心に残ったハイキングをしました。沖縄では、ほとんどできないので、楽しみでした。まずは、バス移動です。1時間30分ほどかけて目的の山のふもとにつきました。そこから登り始めていきます。ハチ予防にあみをつけてから登ります。最初は上り坂でした。と中でどんどんつかれてきました。でも、頂上につくととてもすっきりしました。次ぎに下り坂でした。なので、すべって転んだり、急に歩くスピードが上がってしまいました。その時は、ハラハラドキドキでした。でも、ご飯を食べる所につきご飯を食べました。おいしかったです。また山登りをしたいと思いました。

四日目は、凧博物館に行って凧作りをしました。ちょっとむずかしくて、みんなおくれしてしまいました。そして、画や文字を書くときに失敗して、やさしく消しゴムでしんちょうに消してもらいました。そして、完成したら凧あげをすることになっていて、みんなで外に出たとたんにアメがふり出しました。とても残念でした。でも、凧が上手に作れたので良かったです。

沖縄では体験できないことがいっぱいあったのでこの経験を生かしていきたいです。